

2月2日(日) 恒例の仏教婦人会報恩講がにぎやかに勤まりました。  
 「真宗宗歌」の歌声の中役員さんによる献供が行われ、みなさんで  
 「しんじんのうた」をお勤めしました。今日は、遠路姫路よりお越し  
 の西信寺山口紀子さんにご法話をいただきました。

《 阿弥陀さまの本願(根本の願い)は、生まれてきてよかったという  
 思い、あなたに安心を与えてあげたいという願いです。

いつでも どこでも どんなときでも 阿弥陀さまの願いは  
 この私に届いてくださってあります。その願いが私のところに  
 「なもあみだぶつ」と喚び声となっておはたらきくださってあります。  
 その願いに生きられ、私たちにもお念仏喜ぶ心を教えて下さった  
 親鸞聖人また、恵信尼さまでした。そして、お互いを観音様のご化身  
 と仰いでおられました。私たちも生活の中のお念仏ではなく、  
 お念仏の中での生活をさせていただきたいですね。

また、家を飛び出した子どもにお母さんが「おにぎり作ったから  
 冷める前に帰っておいで」というメールを送ったのが大賞になった。  
 阿弥陀さまのお心は親が子のことをいつも心配しているように  
 帰っておいでという言葉の中に、いつでもどこでもあなたのことに  
 帰る場所はあるんだよ 引き受けたよと全部受けとめてこの私に  
 喚びかけ、おはたらきくださるのがお念仏です。》



2年間臼井美津子会長はじめ、横山輝代副会長、小林勢  
 津子会計さんに仏婦のお役  
 を務めて下さいました。  
 皆さまお疲れさまでした。  
 婦人会総会が持たれ、新役員  
 さんには

会 長 鈴木由記子さん  
 副会長 鈴木郁子さん  
 会計 内田順子さん  
 にお引き受けいただきました。  
 宜しく願いいたします。

**正月汁** 2月16日の旧正月、  
 親鸞聖人のご命日に各組の  
 かたが寄り合い、お勤め、法話  
 お齋をいただく行事です。

今年は新町新道組で、日曜日に当たったこともあり沢山お参り  
 されました。「正信偈」のあとお話は「黒白二鼠の譬え」です。  
 皆さん熱心にご聴聞下さいました。  
 組の方々が年に一度顔を合わせ、  
 共にお齋をいただき懇親の場を持たせ  
 ていただくご縁は、これからも大切に  
 勤めさせていただこうと思います。



2月無量寿会例会では、お釈迦様涅槃会にちなみ

「涅槃図」のビデオ鑑賞と丸橋会長のソチオリンピックでの感動したお話を聞きました。温かい鯛焼きをいただいてお茶をした後ふれあいのひと時は、会長さんがチームを作り、オリンピックをいたしましょうと、豆をストローでカップに入れる種目、なぞなぞを説く種目、早口言葉などチームでトライ。優勝チームはチョコのメダルをいただきました。今月は追悼法要です。



## 仏教壮年会

2月22日(土)例会を持ちました。高橋副会長より教区研修会に参加して「地域に密着したお寺づくり」のテーマで、聴聞の拠点とするのがお寺であり、どう活性化していくか。また、門徒のたしなみについてのご報告をいただきました。その後、例会やお寺の行事にどう参加を募るのか、お寺の魅力とは何であるのか、聴聞することは大事なこと、組織をどうしていくのかなど話し合いをもちました。

何故か氣に成る  
札幌市 大島義勝

義兄言葉氣成  
墓 何処在

真冬 何故聞  
義兄 今年九十六歳 壮健

女房 姉(長女) 亭主  
義兄 現役 離 三十年

娘達 皆嫁 孫 話満載  
夫婦 仲良様 心 和

知識 見識 素晴  
何時 人生行路 拝聴

義兄 体弱 来  
食事 観

最近 音 高過  
話 途中 同 聞

誰 名前 聞 返  
今朝 何故 氣懸

私 父 往 一年前  
墓 参 云

優 人生 大先輩 義兄  
何時 迄 元氣 居 欲

南無阿弥陀仏



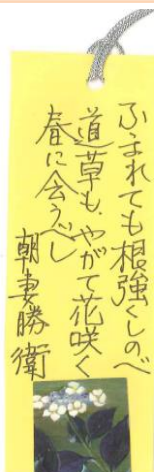
春がもうそこまで来ています。花粉の方辛い時節、本堂の縁は拭き掃除に追われます。くれぐれも皆さまお大事になさって下さい。



亀山市  
村山  
富美子  
さん



朝倉市  
森田  
瑛子  
さん



札幌市  
大島  
光子  
さん

水溜り 写りし雲や 春浅し  
一服の お茶に和める 春炬燵  
梅一輪 老いの寂しさ 癒しけり  
ほとばしる 川水走る 春兆す  
ものの芽の 動きも春の 立ちにけり  
春愁や 梵鐘長く 尾を引いて  
雛の息 こもれる箱を 開きけり  
安穩に 暮らせる日々や 雛まつる

落 今 登 代 子



皆様からの、感想・投書・俳句・記事・出来事など気軽にお寄せ下さい。お待ちしております。